

令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立東中浜小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

児童間トラブルや学校内外での問題行動、行き渋り等に関しては、日々の観察や教職員間の連携により、早期発見・早期解決に努めている。特に対応が難しい事案に関しては学級担任だけでなく、学年、特別支援、旧学級担任、生活指導、教務、専科教員、養護教員、SC、管理職が臨機応変にチームで対応している。しかし解決の難しい不登校児童が一定数存在しており、保護者との連携・協力を強めながら改善に向けて取り組んでいく。

一方、標準服や授業規律など規範意識の醸成には一部課題があり、今後保護者の協力も得ながら、働きかけを進めていく必要がある。また、SNS上のトラブル未然防止の啓発も今後の重点課題である。

豊かな心の育成に関しては、児童会活動、出前授業、社会見学等の体験活動を積極的に行っている。また各クラスで、友だちや自分の良さに気づく「いいことみつけ」などの自己肯定感を高める活動に力を入れている。その結果、「人の役に立ちたい」「自分にはいいところがある」「あいさつをする」児童の割合は徐々に増加している。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

『主体的・対話的で深い学び』を支えるICT活用」をテーマに、2年にわたり授業研究を進め、教員・児童ともICT活用力が劇的に向上し、授業だけでなく行事や児童会活動、家庭学習等での一人一台端末の活用が大いに広がっている。この成果を活かし、今後、「主体的・対話的で深い学び」に繋がるようなICT活用方法をより深めていく。

また、家庭と連携した取り組み「親子で学ぼう」の企画を進め、学習意欲・基礎学力の向上と家庭学習の啓発を進めている。

運動面では、かけあし週間、なわとび週間、げんキッズ（外遊び）週間などの取り組みにより、休み時間に元気に運動場を駆け回る児童が増加しており、「運動が好き」と回答する児童の割合が向上している。

健康面では、手洗いキラピカ週間や健康生活週間などを設け、保護者・児童への啓発活動を進めている。しかし、昨年度は風邪様疾患による学級休業が頻発したので、今後も家庭と連携しながら、学校内外での感染症対策を継続していく必要がある。

【学びを支える教育環境の充実】

ICT機器の活用は大いに進んでいるが、児童の一人一台端末の機器不具合や破損等のトラブルが多発している。またプロジェクターやマグネットスクリーンの老朽化も目立つ。また、大型液晶テレビの未配置の学級もあり、今後も計画的に整備を進めていく。

働き方改革の面では、保護者・地域の理解も得ながら、電話対応時間の短縮、ミマホルメの積極的活用、運動会土曜開催、今年度より通知表前後期制、SSSとの連携などを進めた。また、一人の教員に業務が集中するのを避け、複数教員（チーム）で対応できる体制を目指して3年前より校務分掌を大きく改変した。まだまだ不十分なところもあるが、結果として教員の長時間勤務は改善に向かっている。しかし家庭への持ち帰り業務など数字には上がってこない隠れ残業があるのも現状である。今後も、教員のゆとり確保のため、授業時数見直しの国の方針も踏まえ、改革を進めていく必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ◇令和11年度小学校学力経年調査において「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 [令和7年度 77.5%]
- ◇令和11年度小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。 [令和7年度 ——%]
- ◇令和11年度末学校アンケートにおいて、「家族や社会の人たちに自分が支えられていることに気づき、日々の生活につながることができましたか。」の項目に肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。 [令和7年度 ——%]
- ◇令和11年度末学校アンケートにおいて、「ちがう学年の人たちともなかよくすることができていますか。」の項目に肯定的に答える児童の割合を82%以上にする。 [令和7年度 ——%]
- ◇令和11年度末学校アンケートにおいて、「学校のきまりを守っていますか。」の項目に最も肯定的に回答する児童の割合を60%以上とする。 [令和7年度 49.5%]

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ◇令和11年度小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比の3年から6年までの単純平均を、令和7年度より0.02ポイント向上させる。
[令和7年度 算数単純平均 (3年 0.99+4年 1.04+5年 1.00+6年 1.04)÷4=1.0175]
- ◇令和11年度小学校学力経年調査における「先生は、授業やテストでまちがえたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていますか。」に対して、肯定的な回答する児童の割合を88%以上にする。 [令和7年度 85.6%]
- ◇令和11年度小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。 [令和7年度 86.7%]
- ◇令和11年度年度末の手洗いキラピカ週間の調査で「ハンカチ、ティッシュを毎日持ってきている」児童の割合を82%以上にする。 [令和7年度 ハンカチ81%・ティッシュ74%]
- ◇令和11年度末学校アンケートにおいて、「朝ごはんを食べていますか。」の項目に最も肯定的に回答する児童の割合を90%以上とする。 [令和7年度 88.5%]

【学びを支える教育環境の充実】

- ◇令和11年度小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を63%以上にする。 [令和7年度 58%]
- ◇令和11年度、1か月の平均時間外勤務が45時間を超えない教職員の割合を77%以上にする。 [令和7年度 71.1%]

2 中期目標の達成に向けた年度目標(全市共通目標を含む)

最重要目標1【安全・安心な教育の推進】

◇小学校学力経年調査において「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。
[前年度 77.5%]

◇小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
[前年度 ——%]

◇年度末学校アンケートにおいて、「家族や社会の人たちに自分が支えられていることに気づき、日々の生活につながることができましたか。」の項目に肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。
[前年度 ——%]

◇年度末学校アンケートにおいて、「ちがう学年の人たちともなかよくすることができていますか。」の項目に肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。
[前年度 ——%]

最重要目標2【未来を切り拓く学力・体力の向上】

◇小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
[前年度 算数 3年 0.99、4年 1.04、5年 1.00、6年 1.04]

◇小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
[前年度 86.7%]

◇年度末の手洗いキラピカ週間の調査で「ハンカチ、ティッシュを毎日持ってきている」児童の割合を80%以上にする。
[前年度 ハンカチ81%・ティッシュ74%]

最重要目標3【学びを支える教育環境の充実】

◇小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。
[前年度 58%]

◇1か月の平均時間外勤務が45時間を超えない教職員の割合を72%以上にする。
[前年度 71.1%]

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立東中浜小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>◇小学校学力経年調査において「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。 [前年度 77.5%]</p> <p>◇小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 [前年度 ——%]</p> <p>◇年度末アンケートにおいて、「家族や社会の人たちに自分が支えられていることに気づき、日々の生活につながることができましたか。」の項目に肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。 [前年度 ——%]</p> <p>◇年度末アンケートにおいて、「ちがう学年の人たちともなかよくすることができていますか。」の項目に肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。 [前年度 ——%]</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>◇縦割り班活動やペア学年での活動、学級活動の充実を図り一人ひとりが活躍する場を取り入れることで自己有用感を育む。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>◇小学校学力経年調査において「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。 [前年度 77.5%]</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>◇学期に一回以上児童朝会において、スクールライフノートに相談機能があることを発信し、担任やそれ以外の先生にも相談できることを周知する。また、心の天気の入力を徹底し、児童の様子を観察する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>◇小学校学力経年調査における「困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 [前年度 ——%]</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>◇社会見学や出前授業などの体験的な活動を積極的に行い、社会の仕組みを学んだり、様々な人と出会ったりすることにより、「人との繋がりや支え」を学び、感謝の心をもって社会に貢献しようとする姿勢を養う。</p>	

<p>指標 ◇年度末アンケートにおいて、「家族や社会の人たちに自分が支えられていることに気づき、日々の生活につながることができましたか。」の項目に肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。 [前年度 ——%]</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2、豊かな心の育成】 ◇児童会活動やわくわくふれあい集会、児童集会などを通して、縦割り班で協力して活動する機会を設けて、異学年の仲間との交流が深まるように工夫し、学年を超えた人間関係の構築を目指す。</p>	
<p>指標 ◇年度末アンケートにおいて、「ちがう学年の人たちとなかよくすることができましたか。」の項目に肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。 [前年度 ——%]</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>① ②</p>	
<p>次年度への改善点</p>	
<p>① ②</p>	

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>◇小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 [前年度 算数 3年 0.99、4年 1.04、5年 1.00、6年 1.04]</p> <p>◇小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 [前年度 86.7%]</p> <p><u>学校の年度目標</u></p> <p>◇年度末の手洗いキラピカ週間の調査で「ハンカチ、ティッシュを毎日持ってきている」児童の割合を80%以上にする。 [前年度 ハンカチ81%・ティッシュ74%]</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>◇学力向上に効果的な授業実践について、教職員間で情報共有を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>◇低・中・高学年それぞれ1本ずつの研究授業と、全教員が公開授業に取り組む。長期休業中(夏季休業・冬季休業など)に、教職員の授業力向上のための研修を実施する。 〈去年度 実施〉</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>◇児童の基礎的・基本的な学力の定着を図るために、学校全体で取り組む。また、家庭学習の啓発に努める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>◇学校全体で基礎的・基本的な学力の定着を図るための施策に年1回以上取り組む。また家庭への家庭学習の啓発のための施策を年1回以上取り組む。 [前年度 年3回実施(家庭との連携2回)]</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <p>◇なわとび週間やかけあし週間、げんキッズ週間を実施し、体を動かすためのきっかけづくりの場を設け、運動する習慣をつける。教室でも体を動かせるようなストレッチやシナプソロジーの例を示した動画を活用し、毎日元気に過ごすことができるよう啓発する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>◇小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 [前年度 86.7%]</p>	

<p>取組内容④【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <p>◇健康や体力を保持増進する力を育成するために、手洗いキラピカ週間の取組みを行い、手洗いの大切さ、ハンカチ・ティッシュの携帯を意識づけ、健康で清潔な生活への意識を高める。</p>	
<p>指標</p> <p>◇年度末のキラピカ週間の調査で、ハンカチ・ティッシュの携帯率を80%以上にする。 [前年度 ハンカチ81%・ティッシュ74%]</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p>	
<p>次年度への改善点</p>	
<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p>	

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>◇小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。 [前年度58%]</p> <p>◇1か月の平均時間外勤務が45時間を超えない教職員の割合を72%以上にする。 [前年度71.1%]</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>◇家庭学習における音読やリコーダー練習を Teams のアプリで代用したり、日々の連絡帳をスクールライフノートで配信したりすることで、授業以外での学習者用端末の活用を広げていく。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>◇小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。 [前年度 58%]</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7、人材確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>◇学年度の小グループで意見をまとめ、本会議、職員会議でのスムーズな運営を図るなど、事前検討に時間を割き少人数での周知や検討を行う事により、会議時間の圧縮を行う。また、月1回以上、ゆとりの日は全職員18時退勤に取り組む。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>◇1か月の平均時間外勤務が45時間を超えない教職員の割合を72%以上にする。 [前年度71.1%]</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>①</p> <p>②</p>	
次年度への改善点	
<p>①</p> <p>②</p>	

令和8年度 学校関係者評価報告書

大阪市立東中浜小学校 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 最重要目標ごとの評価

最重要目標1 安全・安心な教育の推進
最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上
最重要目標3 学びを支える教育環境の充実

3 今後の学校園の運営についての意見

--